

長崎出身の売れっ子漫画家

清水崑 没後50年

文化財課
☎829-1193
長崎学研究所
☎818-8388

ルーツは似顔絵から

高校生の頃から似顔絵が得意だった清水崑。上京後に困窮した時も似顔絵で生計を立て、プロになってからは当時の著名人を多く描いています。

また、清水崑は戦後の政治漫画を代表する漫画家でもあります。評論家の小林秀雄の後押しで政治漫画の世界に入り、昭和22年に朝日新聞社の嘱託員として政治漫画を描くようになりました。清水崑の政治漫画は、鋭い風刺ではなく、政治家の人柄や政治事件を楽しく、分かりやすく読者に伝えていて、とても人気だったようです。

昭和26年には、朝日新聞社の特派員として、サンフランシスコ講和条約を取材するためにアメリカに渡っています。彼が会議の様子を現場でスケッチした原画が、清水崑展示館に収蔵されています。

「かわいいかっぱ」の生みの親!?

清水崑の代表作といえ、かっぱ漫画。子ども向けの「かっぱ川太郎」や大人向けの「かっぱ天国」が大ヒットしました。

清水崑が描く以前のかっぱは、人や牛馬を水中に引き込んで殺すなど恐ろしい怪物だというイメージが強く、怖い妖怪と思われていました。

対して清水崑が描いたのは、かわいい見た目のおちゃめでドジなかっぱたちです。愛らしい姿のかっぱが相撲を取ったりお茶漬けをかき込んだりと、人間のような生活を送ります。かっぱが親しみやすい存在になったことで全国で「かっぱブーム」が巻き起こりました。彼が描くかっぱの登場以降は、人間のような性格を持つかわいい見た目のかっぱが多く見られるようになり、現代のアニメなどに出てくるかっぱのキャラクターにも引き継がれています。



「かっぱ展下絵」より一部掲載



「かっぱ川太郎」



清水崑プロフィール

本名：清水幸雄
出生地：長崎市銭座町（現在の天神町）
生年月日：1912年9月22日
没年月日：1974年3月27日

～この写真のエピソード～

清水と「サザエさん」の作者である長谷川町子が、声を出さず漫画で対談する朝日新聞の企画に参加した際の写真です。2人は同時期に朝日新聞に漫画を描いていました。

2022年の
推しかっぱ
総選挙1位の
川太郎だよ



かっぱ川太郎 4コマ漫画



「長崎の行事を遊」

長崎の文化が大好き

清水崑は、故郷への愛情も強く、全国的に活躍してからも、たびたび雑誌で長崎のことを語っています。

晩年盛んに個展を実施していた清水崑は、昭和46年から47年にかけて長崎で「長崎のくんちを遊ぶかっぱ展」、「長崎の春夏を遊ぶかっぱ展」、「ふたたびくんちを遊ぶかっぱ展」の3回の個展を開催。この時、大好きだった長崎とかっぱを題材にした作品が多く描かれています。「長崎の春夏を遊ぶかっぱ展」には、彼が「狐狸庵閑話」の挿絵を担当していた縁で、遠藤周作も足を運んでいます。遠藤周作は清水崑のかっぱに「母なるものというイメージを持っている」と述べています。なお、この時の個展の話が「狐狸庵閑話」の最終話となっています。

さらに、東濱町が現在、長崎くんちで奉納している「竜宮船」のデザインも清水崑が行いました。今も東濱町自治会には彼のデザインスケッチと制作の際の書類が残っています。長崎くんちの歴史に残る大きな出来事であり、長崎の年中行事を愛した清水にとって大仕事でしたが、くんちの半年前に急逝し、本番を見ることは叶いませんでした。



竜宮船
(長崎伝統芸能館に展示)

推しは清水崑!



長崎学研究所学芸員
入江 清佳さん

彼の研究をしている学芸員の入江さんに話を聞きました。

幅広いスキルを持っていた清水崑

清水崑は漫画の執筆のほかに、小説の装丁や挿絵、テレビや映画、舞台の背景美術など幅広い仕事をこなしていました。また、文化人との交友関係も深く、川端康成は清水の画風を「あいたいとして広潤、温暖にして爽涼、無礙にして新鮮(雲や霞がたなびく様にはっきりしないようで広々とひらけているようでもある。温かいようでさわやかな涼しさもある。とらわれるものなく自由であり生き生きとしてい

る。)」と評しています。このように、清水は仕事の内容や交友関係が独特で、昭和の文化史や政治史、長崎学を通して考えると興味深い部分が多くあります。

市では漫画原画などのデジタル化を進めたり、調査研究を行ったりと、貴重な資料と業績を後世に伝える取り組みをしています。これから市の宝として、活用していきたいです。現在、マンガの研究が全国的に進んでいるので、清水が残した作品にもっと注目が集まって欲しいですね。



清水崑ゆかりの銭座小学校で 次世代へつなぐ



清水崑が生まれた家は銭座小学校裏門前（現在は駐車場）にあったそう。その後、清水崑は銭座尋常小学校（現在の銭座小学校）を卒業し、後に彼の作品が学校の壁画になりました。

銭座小学校では、4年生が総合的な学習の時間に、学校にゆかりのある清水崑を調べてまとめる学習を行っています。学習を担当した先生と児童とお話を伺いました。

推しかっぱはぼんたくん!

授業では、清水崑さんの残した作品や生涯を学びました。学習は全部楽しかったです。学校の壁画は、学習する前は「かっぱは何をしているんだろう」と思っていたけど、学習して込められた思いや意味が分かりました。



銭座小学校4年
武藤さん

山道さん

推しかっぱは川太郎!

昔、かっぱは怖いとされていたけど今は清水崑さんのおかげでかわいくおもしろいイメージになっていてすごいと思いました。学習をして友達ともしっかり仲良くなりました。壁画の2人みたいに仲良く面白く遊んで過ごしたいです。

担任の先生より

壁画「なかよし」の思いを大切に

異動先が銭座小学校となり、まずはじめに「かっぱの壁画の小学校だ」と思いました。

子どもたちに「かっぱ川太郎」のアニメを見せたところ、笑ってとても楽しんでいて、私も一緒に楽しめました。学習では、清水崑さんの人柄、ユーモア性、明るさ、愛情や、本校の壁画「なかよしかっぱのふうちゃん たあちゃん」に込められた願いについて考えていきました。

学級全体で学びを深めていくことで、友達と仲良く、一人ひとりの個性を生かし、笑顔と優しさにあふれた4年生に成長しています。



中の茶屋 清水崑展示館



清水崑展示館は市指定史跡の中の茶屋の敷地内にあります。原画などを約3,700点所蔵しており、展示替えを行いながら常時30～50点の資料を展示しています。

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月(祝を除く)・12月29日～1月3日

住所 中小島 1-4-2

アクセス 思案橋電停・バス停から徒歩約10分

入館料 小中学生50円、一般100円 **問い合わせ** ☎827-6890



没後50周年 特別展示

企画展 開催中

中の茶屋で開催中です。和の空間で、ゆっくりと作品をご鑑賞ください。

第1弾

筆をかついで
～清水崑の軌跡～

期間 2月27日(火)～7月7日(日)

内容 彼の活躍を振り返りながら、かっぱ漫画や政治漫画、本の装丁などさまざまなジャンルの資料を展示します。

第2弾

清水崑と長崎(仮)

期間 7月9日(火)～11月10日(日)

内容 ふるさと長崎への愛情を持ち続けていた清水。長崎の行事を題材にした作品などを展示します。

第3弾

墨で描く
漫画の世界(仮)

期間 11月12日(火)～3月9日(日)

内容 清水崑の作品の特色は、毛筆で描かれていること。墨の濃淡と筆遣いで描く、毛筆ならではの温かみや躍動感のある漫画をご覧ください。